

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



Vol.44

国際宇宙ステーション



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」!

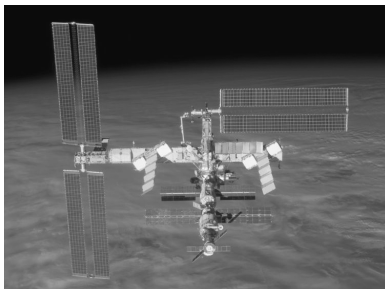
案内役は、国際交流員のアダム・ラビエールさんとジェニファー・ステントンさんです。

Hello! アダムです。

皆さんは国際宇宙ステーションを知ってますか? それは多数の機能を備えた宇宙船で、地上320kmにある軌道に乗っています。そこには宇宙飛行士が常駐し、科学的な実験を行っています。今回はその宇宙ステーションを紹介したいと思います。

国際宇宙ステーションは地球の引力を原動力として利用し、1日に16回時速27,745kmの速さで地球を回っています。宇宙ステーションには3~5人の宇宙飛行士が常駐し、業務が適切に行われているかを確認したり、科学的な実験を行ったりしています。

宇宙ステーションは、**数年間の計画**を経た後の1998年に、まずは一部だけが上空に打ち上げられました。まもなくそのプロジェクトはアメリカ、ロシア、日本、カナダ、ヨーロッパ各国の宇宙局間においての共同事業となりました。これら五か国がステーション設立資金のために共に助け合い、少数の構成員が10年以上にわたり多忙な宇宙飛行業務の合間を縫って資金を集め、実現の運びとなったのです。ステーションで生活するための最初の宇宙飛行士としての乗組員は、2人のロシア人と1人のアメリカ人で、2000年のことでした。彼らはステーションに4か月滞在した後、地球へ戻りました。今日、国際宇宙ステーションはまだ完成にはほど遠いにもかかわらず、地球から遠く離れた宇宙の惑星などの「区画」としては、



びっくりするほど高額です。ちなみに宇宙飛行士たちは、平均で6か月ほど滞在してから地球に帰ります。

ステーションは**10の部分**から構成されていてそれぞれが連結しており、酸素がある内部は密閉され、気圧も一定に保たれています。ステーションに滞在する人々は無重力の中で働き、食事をし、睡眠をとる生活をします。移動するには壁や天井を押し、あちこちに浮かびながら動きます。食べたり眠ったりするには、紐で自分自身を固定するか何かにつかまらないとあち

こちに浮かんで何かにぶつかってしまうのです。

ステーションは大気中の**半永久的な軌道**

に乗っています。新旧宇宙飛行士の交替のためには宇宙船が地球から飛び立ち、ステーションに連結しなければなりません。そのためには地球から打ち上げられた宇宙船が、ステーションと同じスピードで軌道に乗らなければならないわけです。それから宇宙飛行士たちは特殊な宇宙服に身を包み、宇宙を浮遊し、宇宙ステーションのエントランスへと向かいます。2000年の宇宙ステーションへの初飛行以来、159人の人々がそこへ行ったり、滞在したりしています。



しかしそこで**生活する人々**は過酷なダイエットや厳しい生活に耐えなければなりません。食事も小さくパックされた軽量の食事を取らなければなりませんし、無重力の生活をしている間は、体を鍛えるために継続して運動をしなければなりません。また、仕事も食事も睡眠もそしてリラックスするのでさえも非常に狭いスペースでしかできません。なぜなら、船内ではほんのわずかな隙間でさえも貴重だからです。また乗組員たちには、船内で要求されることに対して、とてもとても注意深く、そして正確であることが求められます。地球から320km上空というのはそれほど危険なところだということです。

しかし、**過酷で犠牲**をはらう仕事ではありますが、宇宙ステーションへの訪問やそこでの生活は、人生最良の経験の一つです。空を見上げてそこに何があるのかなあと思いを巡らせているすべての子どもたちの夢を手に入れるのですから。本物の宇宙飛行士になれるのですから。